

# こごみ

## 1 作型

月	1			2			3			4			5			6		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作	株養成			ランナー採取			—			—			—			—		
	(春植え)																	
型	露地栽培																	
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin-right: 5px;"></div> <span>促成栽培</span> </div> <div style="display: flex; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin-right: 5px;"></div> <span>伏せ込み</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <span>促成株植付け再生</span> <span>2~3年の養成</span> </div>																	

月	7			8			9			10			11			12		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作	××××××××××××××××			××××××××××××××××			—			—			—			—		
	子株発生			子株植付け(秋)			収穫まで3~4年養成			—			—			—		
型	露地栽培																	
	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; width: 15px; height: 15px; margin-right: 5px;"></div> <span>促成栽培</span> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <span>株間引き</span> <span>株堀取り</span> </div>																	

: 定植     
 × : 遮光     
 : 収穫  
 : ハウス

### アピールポイント

- ・収穫時期: 1月下旬 ~ 4月中旬。
- ・高級感のある春を感じる野菜として天ぷら、味噌和え等多様な料理に利用できます。
- ・あくが無く簡単に調理可能で他の山菜とともに人気があります。
- ・促成栽培では根株伏せ込みから3週間で収穫できるため、計画出荷が可能です。



## 2 各作型のポイント

### (1) 露地栽培

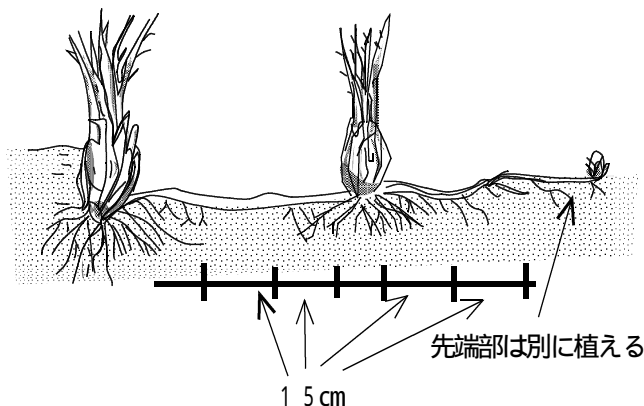
ランナーを用いた増殖が効率が良い、3月下旬～4月上旬の萌芽前に若株から発生した太く充実した強いランナーを掘上げ、15cmに切断して、うね間、株間各20cm、深さ3cmに伏せ込みます。ランナーの先端は樹勢が強いいため、まとめて別に管理します。

発生した子株を9月下旬～10月上旬、または翌年3月下旬～4月上旬に苗として植え付けます。

良質な収穫物を得るには、塊茎の直径が4cm以上、1茎葉重3g以上が必要であり、収穫までに大株では3年間、中～小株では4年間株を養成します。株養成期間中は、毎春萌芽前に施肥を行います。また、シダの特性上半日陰を好むため、7月～9月は黒寒冷紗で遮光します。

収穫は4月～5月にかけて、長さ10cm程度の若芽を先端が開かないうちに順次収穫します。収穫後10日程度で再び芽が伸びますが、翌年の収穫に向けて株養成するため、収穫は避けます。

密生状態になると品質が低下するため、植付け後数年が経過して大きくなった株は、促成栽培に用いるなど、混んだ部分は間引き、子株の生長を促し、順次株の更新を行います。



ランナーの利用

### (2) ハウス促成栽培

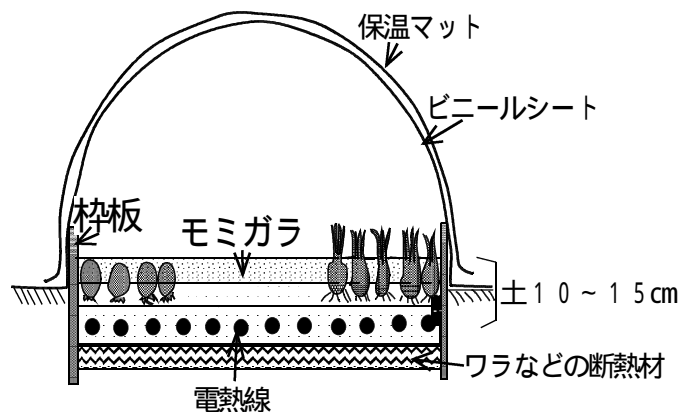
ハウス内に温床を作り、根株を伏せ込む方法によって、極早採りでの栽培が可能です。

根株は葉が完全に枯れる10月末～11月に塊茎の太さが4cm以上の株を掘取り、乾燥しないように保管しておきます。温床への伏せ込みは、年明けに行う方が芽揃いが良く、目標収穫時期の3週間前を目安に行います。

温床内は18～20℃に管理し、高温が続くと芽揃いが悪くなるため、23℃以上にならないように管理します。

収穫は長さ15cm程度に伸びたものから順次行い、1回目の収穫後7～10日で2回目の収穫も可能です。

収穫後は直ちに株を掘上げ、ビニールなどをかけて乾かさないようにし、4月上旬に植え付け2～3年株養成すると再び利用することができます。



伏込み床の構造